

処理技術保有企業各社の処理技術一覧(平成15年4月現在)

処理技術保有企業		A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社	J社	K社	L社	M社	N社	O社	
液処理の概要	方式	脱塩素化分解	脱塩素化分解	脱塩素化分解	脱塩素化分解	脱塩素化分解	脱塩素化分解	脱塩素化分解	脱塩素化分解	脱塩素化分解	光分解+触媒分解	光分解+生物分解	水熱酸化分解	水熱酸化分解	還元熱化学分解	-	-
	温度	160-170	140-160	90	180-230	300-320	150-210	260	120	120	光分解: 50±10 触媒分解: 74±2	60 未満	600-650	370-380	850 以上	-	-
	圧力	常圧	常圧	常圧	常圧	常圧	常圧	常圧	常圧	1MPa未満	常圧	常圧	23-25MPa	27MPa	常圧	-	-
	使用薬剤等	金属Na分散体、絶縁油	金属Na分散体、絶縁油	金属Na分散体、イソプロピルアルコール	金属Na分散体、灯油、窒素	KOH、絶縁油不飽和炭化水素	KOH、1,3-ジメチル-2-イミダゾリジン(DMI)、炭化水素	Pd/C触媒、水素、流動パラフィン	NaOH、水素、スポンジNi、メタノール	NaOH、イソプロピルアルコール、HCl、Pd/C	NaOH、イソプロピルアルコール	水、空気、乳化剤、中和剤	水、NaOH、酸素	水素、窒素、NaOH	-	-	
液処理の実績 【凡例】 ・許可施設:廃棄物処理法に基づく設置許可を受けた処理施設の実績 ・実証:実証試験レベルの実績	高濃度PCB	許可施設(2件)	許可施設(2件)	許可施設	実証	許可施設	許可施設(建設中)	許可施設(建設中)	実証	許可施設	実証	許可施設(試運転中)	許可施設	実証	-	-	
	海外、低濃度PCB	低濃度PCB油処理施設試運転中	海外実績:カナダ 低濃度PCB油処理実績:16ト	海外実績:カナダ	-	-	低濃度PCB油処理実績:370ト	低濃度PCB油処理施設建設中	-	-	-	-	-	海外実績: カナダ、オーストラリア	-	-	
液処理におけるPCB処理実績	処理能力	9kg/バッチ 40kg/バッチ	221kg/日	5kg/日	144kg/日	10kg/日	7kg/日 14kg/日 250kg/日(建設中)	30.4kg/日	32kg/日	2.0kg/日 24kg/日 50kg/日	4kg/日	7kg/日	12kg/日	-	-	-	
	処理量	合計1,500kg以上	1781kg	247kg	138kg	600kg	60kg 70kg	240kg	12kg	5.7kg 4.5kg 54.3kg	80kg	約20kg	946kg	トランス10kVA: 2台 PCB油:6.2kg	-	-	
	運転時間	通算:60バッチ以上	連続:平均10時間 間操業で平日28日 通算:550時間	通算:526時間	連続:10時間 通算:60時間	連続:約12時間 通算:約1700時間	通算: 100時間 75時間	連続:84時間 通算:408時間	連続:11時間 通算:38時間	連続: 30時間 6時 間 29時間 通算: 205時間 15 時間 237時間	連続:2ヶ月 通算:5,000時間	連続:約10時間 通算:約100時間	連続:238時間 通算:2,967時間	通算:96時間	-	-	
前処理の概要	洗浄方式	-	溶剤洗浄	溶剤洗浄	溶剤洗浄	溶剤洗浄	溶剤洗浄	-	-	溶剤洗浄	溶剤洗浄	溶剤洗浄	溶剤洗浄+水系洗浄	-	-	-	
	温度	-	常温	50-60	120-130	<100	50-150	-	-	100	常温	常温	常温	-	-	-	
	圧力	-	常圧	真空~常圧	常圧	常圧	減圧	-	-	0.01MPa	常圧	常圧	常圧	-	-	-	
	使用薬剤等	-	HCFC225	炭化水素系溶剤	灯油	絶縁油	炭化水素系溶剤	-	-	炭化水素系溶剤	イソプロピルアルコール、トリクロロエチレン	トリクロロエチレン	炭化水素系洗浄剤、NaOH、低級アルコール系洗浄剤	-	-	-	
	分離方式	-	-	真空加熱分離	-	真空加熱分離	真空加熱分離	真空加熱分離(N社と共同)	-	-	-	-	真空加熱分離	(蒸発)	真空加熱分離	真空加熱分離	
	温度	-	-	200-260	-	~250	150	-	-	-	-	-	200-600	650	200-600	200	
	圧力	-	-	0.013kPa	-	~0.007kPa	0.01kPa	-	-	-	-	-	0.1-12kPa	常圧	0.1-10kPa	0.0067kPa	
	使用薬剤等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	水素、窒素	シャワー油(絶縁油、洗浄油相当)	-	
	特記事項	-	-	最終除染にのみ真空加熱分離を用いる	-	-	真空加熱分離は洗浄工程の1つの機能として付加している	真空加熱分離はN社の技術を用いて共同で実証試験等を実施	-	-	-	-	含浸物等について直接水熱酸化分解する方法を実証中	含浸物については液処理と併せて水熱酸化分解	還元熱化学分解による一括処理工程として容器等のPCBを蒸発	トランス・コンデンサ等の一貫処理を実証プラントでG社と実施	低濃度PCB汚染物等が対象
前処理の実績 【凡例】 液処理と同様	高圧トランス・コンデンサ等	-	実証	実証	実証	実証	許可施設(建設中)	許可施設(建設中)(N社と共同)	-	実証	実証	実証	許可施設	(液処理と共通)	許可施設(建設中)(G社と共同)	実証	
	海外	-	海外実績: カナダ	海外実績: フランス(洗浄)	-	海外実績: カナダ(洗浄)	-	-	-	-	-	海外実績: アメリカ	-	海外実績: (液処理と共通)	-	-	

注記: 1. 表中に記載されている処理の実績は、当該処理技術を用いた処理施設における実績であるが、必ずしも処理技術保有企業の自社施設における実績ではない。